平成 29 年度 三重県小児在宅看護研

会場:三重大学医学部 臨床講義棟 臨床第 1・2 講義室

初期研修

平成 29 年

4月23日(日)

 $9:30\sim16:30$

※昼食をご持参ください

スキルアップ研修

平成 29 年

8月6日(日)

 $9:30\sim16:30$

- 外科的医療の現状
- ◆栄養・摂食・嚥下

スキルアップ研修

平成 29 年 12月10日(日)

 $9:30\sim16:30$

- ◆心疾患 ◆小児がんの子どもと 家族の支援

対象:看護師免許取得者(保健師含む)

全ての研修(3日間)参加者には修了書発行予定

はじめに:趣旨説明

I. 小児在宅の動向、今後の方向性、現状と課題

小児科医 岩本 彰太郎

(三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター センター長)

Ⅱ. 在宅で生活する子どもの理解

1. どのような子どもがいるか? (身体障がい・知的障がい含む)

2. 観察のポイント

看護師 村端 真由美

3.NICU からの在宅移行・家族看護

(三重大学 大学院医学系研究科 看護学専攻 准教授)

Ⅲ. 身体的特徵

小児科医 岩本 彰太郎

(三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター)

1. 身体の成長発達 2. 心の成長発達

小児科医 大橋 浩

(独立行政法人 国立病院機構 三重病院)

IV. 小児在宅に必要な看護技術

1. コミュニケーション 非言語的コミュニケーション ストレスサイン

2. 疼痛緩和

重症心身障害児がもつ疼痛 疼痛緩和ケア

小児看護専門看護師 河俣 あゆみ

(兵庫県立大学看護学部 生涯広域健康看護講座 Ⅱ 小児看護学 准教授)

V. 障がい福祉制度

三重県健康福祉部 障がい福祉課

VI. 具体的な看護

看護師 奥野 祐希

1. 子ども特有の医療的ケアにおける留意点 (三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター)

VII. グループワーク

- 1. グループワークオリエンテーション
- 2. 事例紹介
- 3. 事例に対してグループディスカッション

平成 29 年度

初期研修 平成29年4月23日(日)

ご氏名	ふりがな	役職・職種	小児看護経験
			有・無

※↑事前にグループ分けを行います。参加者全員のお名前をご記入ください。

施設名				
勤務先 住所 電話番号	〒 −			
	電話番号()	_	
E-mail				

場 ~アクセス~

三重大学医学部 臨床講義棟 臨床第 1・2 講義室

(医学部附属病院敷地内の無料駐車券を発行します。病院敷地内への駐車をお願い致します。) 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2 丁目 174

ーアクセス-

■徒歩:近鉄名古屋線「江戸橋」駅下車、徒歩15分

■バス:近鉄名古屋線「津」駅下車(津駅東口④番バス停)

- →三重交通バス「大学病院」バス停下車、徒歩3分
- →三重交通バス「大学病院前」バス停下車、徒歩5分
- ■タクシー: 近鉄名古屋線「津」駅東口より10分



(事務局)

お問い合わせ 三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター

TEL: 059-231-5768 FAX: 059-231-5435 E-Mail: children-tcc@mo.medic.mie-u.ac.jp

FAX 059-23